

『Tsuku-場 第18回イブニング・レクチャー』アンケート集計結果

◆多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。簡単ではありますがアンケートを以下のようにまとめました。

- ・開催日：2024年3月7日（金）19:00～20:30
- ・場所：オンライン開催
- ・内容：仕事への向き合い方が変わる、ゆるいつながりとのコミュニケーション
ー ポジティブなキャリアの捉えなおしの効果
- ・講演者：永野 惣一 氏
筑波大学 働く人への心理支援開発研究センター 研究員 博士（カウンセリング科学）
埼玉学園大学、駒澤大学、聖心女子大学非常勤講師 公認心理師 精神保健福祉士 認定心理士

◆参加状況

申し込み 人数	参加者	アンケート 回収数
90	73	52

◆満足度について

とても高い	高い	普通	低い	とても低い	未記入	計
29	19	4	0	0	0	52

◆アンケートに書かれたコメントの中からいくつか抜粋しました。

- ・弱い紐帯をうまく活用することで、新しい情報や気づきを得られることがわかった。
- ・自分自身が無意識に「弱い紐帯」とされる人間関係を大切にしていたことに気づかされました。
- ・なんとなく感じていた、弱い紐帯がもたらす影響（効果）が具体的にわかり納得感がありました。キャリア支援者として、今後の仕事上で役立てそうです。
- ・弱い紐帯が越境学習等あらゆる活動に応用できると思いました。新たな視点を得るため、SNSへの投稿を増やしたり、活動範囲を広げてみようと思いました。
- ・旧知の人だけでなく、セミナーなどあえて新しい所に行って、「弱い紐帯を新規に作ることも自分の世界を広げるのに重要だと思いました。
- ・他者との関わりの質が自分自身の振り返りに影響を与えるとともに、その振り返りの質がその後の行動や活力に影響を与えるということをあらためて確認できました。弱い紐帯との接触頻度やタイミングも大切な要素になるのではないかと感じます。
- ・多様な友達とゆるくつながることは、新しい世界を開くことであり、新しい自分を見つける事でもありますね。かつての強い紐帯だった学生時代の友人、前職の友人は確かに重要な弱い紐帯ですが、セミナーとか旅先で知り合った一期一会の知人もFacebookでつながることで有益な情報を与えてくれる弱い紐帯となっています。ポジティブな影響が多いのは、繋がる人を選別しているのだと感じました。
- ・「腐れ縁を切らないで」というメッセージは特に響きました。
- ・弱い紐帯の『強さ』の4要素や強い紐帯が弱い紐帯になって、再会したときに、自分との再会にもなるという最後のまとめがとても印象に残りました。そもそも弱い紐帯は強い関係性を持っていたという点もとても、原体験から納得しました。
- ・同一コミュニティ内での社会活動だけでは視野が広がらないという点を改めて気づきました。
- ・弱い紐帯の方が、情報の収集源として有効であり、自身を客観視できる事や、知らない領域の事を知る機会になり、自分自身を内省化できる事を知った。